



宮崎大学マガジン

【特集】

2024年に創立100周年

—ひなたの下で育んだ
100年の農学を次世代へ—



農学部100年の軌跡

農学部附属施設の変遷

みやだいWaku Waku 体験 Day・農学部の日

農学部創立100周年記念事業について

もっと良い牛を育てたい ～愛牛ハルとの思い出を胸に～
～農学部畜産草地科学科2年 藤井 琴末さん～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

宮崎大学は持続可能な開発目標(SDGs)の達成に資する取り組みを推進しています。

2024年に創立100周年 ひなたの下で育んだ、100年の農学を次世代へ 農学部 100年の軌跡



宮崎大学農学部の歴史は、1924年(大正13年)に、現在の宮崎県立図書館などがある宮崎神宮西側の宮崎県総合文化公園に創立された宮崎高等農林学校に遡る。その後、1944年(昭和19年)に宮崎農林専門学校に、1949年(昭和24年)に宮崎大学となり、1984年(昭和59年)に現在の学園木花台に移転し、2024年(令和6年)には、創立100周年を迎える。

育機関が充実していった。

宮崎高等農林学校が創立された大正という時代(1912年~1926年)は、わずか15年弱という短い期間ではあったが、第一次世界大戦による「大戦景気」と「戦後恐慌」、「関東大震災」を経験するなど、激動の時代であった。一方で、普通選挙法が成立するなど、「大正デモクラシー」と呼ばれ、民主主義的な思想や運動が盛り上がりを見せるようになったほか、1918年には「大学令」が交付され、人材育成のための高等教育

宮崎県に目を移すと、農業・工業・商業学校等の中等職業学校が次々と設立されたものの、明治時代に鹿児島県に設置された高等農林学校は存在せず、本県においても高等農林学校の設立が強く要望されるようになり、誘致運動の気運が高まった。そして、1923年(大正12年)に誘致のための募金が計画され、県下の各郡から約26万円、県内企業・銀行などから約4万円、宮崎県から6万円が集まり、県を挙げた誘致運動が成果を上げ、1924年(大正13年)、国内10校目となる宮崎高等農林学校の設立が正式に認可され、同年10月に初代校長に宮原忠正氏が任命された。こうして歴史の一步を踏んだのであった。しかし、1937年(昭和12年)には、日中戦争が勃発。授業の一環で軍事演習も行われるなど、次第に戦時体制に入っていくこととなる。

太平洋戦争が始まった1941年には、学徒動員が実施。住吉牧場の一部を「報国農場」と名付けて、学生・教職員総動員による食糧増産のために、船塚キャンパスから行軍と称して徒歩で勤労作業に向かった。1943年には、臨時徴兵検査(学徒兵)が第一宮崎国民学校(現在の宮崎市立宮崎小学校)講堂で行われ、第一回学徒兵として多数が入隊。以後、次々と出陣が始まり、多くの学生が学業半ばで戦地に派遣されることになる。

校(宮崎農林専門学校)を母体とする宮崎大学農学部が発足。同年7月1日の入学式において、229名の新入生を迎え入れることとなる。終戦後、紆余曲折を経ながら宮崎大学設置に至っているが、宮崎県・県内各市町村・林産業界・商工界・農産業界・水産業界・その他の個人・団体から総額1億6千万円の寄附金が集められるなど、数え切れないほど多くの関係者の尽力があつて、大学設置に至ったことを忘れてはならない。

1945年3月には、「決戦教育措置要綱」が閣議決定され、国民学校初等科以外の授業は4月1日から1年間停止されることとなる。同年3月18日には、宮崎県内もアメリカ軍の空襲を受けるようになり、同年5月11日には、集団下校途中であつた宮崎県尋常師範学校附属小学校(現在の宮崎大学教育学部附属小学校)の児童12名と宮崎師範女子部附属国民学校に通っていた生徒4名が空襲で犠牲となった。また、同年の戦火による校舎の焼失は免れたものの、1946年7月に発生した原因不明の出火により、本館が全焼してしまうこととなる。

その後、1949年3月31日に文部省から宮崎大学の設置が正式に認可され、宮崎高等農林学校(宮崎農林専門学校)を母体とする宮崎大学農学部が発足。同年7月1日の入学式において、229名の新入生を迎え入れることとなる。終戦後、紆余曲折を経ながら宮崎大学設置に至っているが、宮崎県・県内各市町村・林産業界・商工界・農産業界・水産業界・その他の個人・団体から総額1億6千万円の寄附金が集められるなど、数え切れないほど多くの関係者の尽力があつて、大学設置に至ったことを忘れてはならない。

戦を続けていかねばならない。

1924

1924年(大正13年)
宮崎高等農林学校設置



双鵬寮の食堂

1944

1944年(昭和19年)
宮崎農林専門学校



双鵬寮南寮前景

1945

1945年(昭和20年)8月
太平洋戦争終戦



学徒動員(1944年)

1949

1949年(昭和24年)
宮崎大学農学部(船塚キャンパス)



みこしパレード(橋通)【1968年】

1985

1985年(昭和60年)
宮崎市木花台へキャンパス移転完了



木花移転当初の様子【1984年】

2004

2004年(平成16年)
国立大学法人宮崎大学



現在の宮崎大学正門付近



高等農林学校正門・本館



宮崎農林専門学校本館



林科17回霧島軍事演習(高千穂峰山頂)【1942年】



農学部正門



農学部移転当初の様子



農業博物館前

住吉フィールド(牧場)

- 1929年 宮崎高等農林学校附属住吉牧場として設置
- 1959年 農学部別科(畜産専修)設置

住吉フィールドは、宮崎市中心部の北約10kmに位置し、交通の便利な市街地にありながら東京ドーム約10個分に相当する総面積50haの敷地に、牛200頭・豚100頭を有する西日本最大級の大学附属牧場施設です。2013年度から文部科学省の認定制度である教育関係共同利用拠点に認定されており、2022年には、JGAP資格取得のための研修機関としても承認されました。GAP認証を受けた農産物は、持続可能な農業により生産された農産物として、オリンピックにおける選手村の食材として使用されるなどSDGs達成に資する取り組みの一つでもあります。研修機関として承認を受けたことにより、指導員資格の取得も可能な研修を実施できるようになりました。



1929年設置当時の様子



現在の様子



現在の様子

木花フィールド(農場)

- 1924年 宮崎高等農林学校の設立と同時に構内に附属農場が設置
- 1944年 宮崎高等農林学校附属農場に改称
- 1952年 大学機構改革により附属農場と附属牧場が合併し、附属農場学内農場に改称
- 1984年 農学部のキャンパス移転と同時に学内農場として移転
- 2001年 農場・演習林・水産実験所の機能的統合と4附帯施設の改組により、学内農場から木花フィールド(農場)に改称
- 2010年 センター内組織の再整備により、木花フィールド(農場)は農業部門と連携

2011年12月に、青果物を対象品目としてJGAP認証を取得しました。これは、大学農場として日本初です。翌年の2012年12月には穀物でも認証を取得し、全ての学生実習をJGAP認証圃場で行うことができるようになりました。2013年11月には、米を対象品目としてGLOBAL G.A.P.の認証も取得しました。2022年からは、住吉フィールドと同様にJGAP資格取得のための研修機関としても承認されました。

最近では、農学部だけでなく他学部からの利用も増加し、全学的な教育・研究の場としても活用されるようになりました。さらに、地域貢献活動として、市民対象の公開講座や保育園児・幼稚園児の体験学習の場などに積極的に取り組んでいます。



現在の木花フィールド(農場)



1929年頃の学内農場

延岡フィールド(水産実験所)

- 1951年 水産学科設置
- 1967年 水産庁が所管する水産実験所を農学部にも所管替え
- 1969年 水産学科を改組し水産増殖学科を設置
- 1972年 附属水産実験所を設置



1985年当時の様子

動物病院(家畜病院)

- 1940年 獣医学科設置
家畜病院設置
- 1953年 附属家畜病院(官制化)
- 2007年 附属動物病院に名称変更



1981年当時の様子

農業博物館

- 1935年 宮崎高等農林学校敷地内に設置
- 1950年 建て替え
- 1979年 博物館相当施設として指定
- 1985年 木花キャンパスに移転



1965年当時の様子

田野フィールド(演習林)

田野フィールド(演習林)は1928年に下北方実習林(今の平和台公園付近)が設置されたのがその始まりです。1937年には田野演習林が、1973年には串間演習林が設置されました。

これら3ヶ所合わせて計620haの山林を教育研究のために管理しています。



高等農林学校時代の田野演習林事務所

農学部附属施設の変遷

2024年に創立100周年

1924年(大正13年)に開学した宮崎高等農林学校には、敷地内に附属農場が設置されました。その後、住吉牧場(1929年)、農業博物館(1935年)、田野演習林(1937年)、家畜病院(1940年)、水産実験所(1972年)が設置されていきました。また、2001年に、農場・演習林・水産実験所の3つの附属施設を改組し、附属自然共生フィールド科学教育研究センター(木花フィールド・住吉フィールド・延岡フィールド)に組織改編。2010年には、組織を再整備し、附属フィールド科学教育研究センター(木花フィールド・住吉フィールド・延岡フィールド・田野フィールド)に名称変更しました。

令和5年度 みやだい WakuWaku 体験Day



木花・清武の両キャンパスで
大人も子どもも楽しめる
企画がたくさん!

場所 木花キャンパス 清武キャンパス
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎市清武町木原5200番地



詳しくは
こちら

第19回

清花祭

きよかさい

イツサイガッサイ 一祭合彩

清花祭という一つの祭りを力を合わせて彩ります!

※新型コロナウイルス感染症対策のため、開催形態や内容等が変更になる場合があります。

2023 11月18日(土) 19日(日) 清花祭、WakuWaku体験Day 同時開催

みやだい農学部の日

2023年11月18日(土) 13:00~15:00

大学祭に合わせて、農学部についてより詳しく知ってもらう機会を設けます。宮崎大学農学部の現在(いま)をわかりやすく紹介するとともに、現役の学生の取組や研究などたくさん紹介します。当日はミニ水族館、農学部に関するなんでも相談室も同時開催します。また、来場者には農場生産物のお土産も準備しています。



詳細・申し込みはこちら

関口教授が文部科学大臣賞を受賞



家畜伝染病に対する正しい知識と検査の重要性を理解してもらうために、生産者や獣医師、農協の職員等を対象とした出前講座や講演会などの啓発活動を10年以上にわたり取り組むとともに、安価で簡便な検査技術を開発し、畜産現場に実装したことなどが高く評価され、科学技術賞(理解増進部門)において、文部科学大臣表彰を受けました。



農学部創立100周年記念事業への寄附について

農学部100周年記念事業にのべ255人(団体)の皆様から温かいご支援をいただいていることに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。地域の皆様方に支えられてきた100年の歴史を大切に、新たな研究開発と次の世代の農学を担う人材育成に努めてまいります。



2022年10月27日から2023年8月31日までにご寄附いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。(ご芳名の公表を希望されない方は掲載しておりません)

■お名前掲載についてご了解いただいた寄附者様 五十音順にて掲載させていただきます。

(株)オーシャン動物病院 音成 伸悟様 V57同窓生様 相部 俊治様 明石 良様 赤塚 慎一郎様 秋山 光雄様 芦刈 美穂様 芦澤 幸二様 安野 凡吉様 安藤 宇一様 井口 純様 池田 修様 池田 誠様 池田 正浩様 伊藤 哲様 井上 謙吾様 井上 為雄様 今泉 進様 今屋敷 哲也様 今屋敷 昌江様	岩切 文昭様 上 蘭重治様 上野 弘様 後田 剛史郎様 宇田津 徹朗様 有働 信男様 占部 智重様 右柳 禎三様 江藤 望様 衛藤 芳之様 大賀 康之様 大津 大裕様 大八木 孝之様 大和田 孝二様 岡林 勝洋様 岡田 満様 押川 嘉東様 落丸 善市様 鬼束 和人様 尾之上 晃朗様 小保 秀之様	片山 勇輝様 山 輝彦様 金木 秀明様 蒲池 大氣様 唐川 敦様 川庄 健治様 河瀬 憲次様 河野 一郎様 菊池 銑一郎様 岸下 純弘様 北原 豪様 柳間 龍也様 國武 久登様 久保 桂一様 神代 正敏様 倉谷 義雄様 黒木 勝久様 梶田 和實様 槐島 芳徳様 高 由起子様 江田 善彦様 幸妻 宏子様	古賀 政利様 小島 健治様 小島 文英様 児玉 忠様 佐伯 雄一様 榊原 陽一様 酒匂 正之様 塩澤 正陽様 篠原 和民様 清水 收様 清水 雅之様 水光 正仁様 末吉 益雄様 関口 敏様 園田 紘子様 高田 洋一様 竹内 功治様 武澤 勝様 竹下 稔様 武林 直人様 田 憲臣様	多田 雅博様 田中 秀典様 谷岩 秀次郎様 中馬 公弘様 椿 高幸様 東堂 光教様 徳永 忠昭様 土地家屋調査士法人 不動産認証 富江 一様 鳥越 逸雄様 中嶋 末光様 中田 哲朗様 中津 瀆進様 長友 純士様 中原 純子様 中原 敏男様 中間 幸弘様 中村 進様 名倉 政雄様	奈須 広美様 西島 康治様 西村 正紘様 西村 幸次夫様 西山 和望様 沼田 さおり様 萩谷 正嗣様 橋口 和実様 浜田 道夫様 浜田 道生様 日高 基善様 開 俊彦様 平原 榮人様 深見 裕伸様 福光 一男様 藤井 滋子様 藤原 英史様 船田 征二郎様 船津 義則様 古庄 雅彦様	松岡 輝正様 岡 公明様 松本 修一様 松本 高彦様 三城 恵美様 溝田 一吉様 宮崎大学 農学部同窓会 六車 三治男様 村田 壽様 森 壽泰様 森 元良一様 矢野 省一様 山田 健太郎様 山村 治様 湯浅 高志様 柚木脇 一郎様 吉田 直建設様 涌田 建美様 渡辺 大輔様 渡邊 高弘様 渡邊 将人様
--	--	--	--	--	--	--

■農学部創立100周年記念事業に寄附いただいた方には、宮崎大学本格焼酎「薫陶」(非売品)を贈呈させていただきます。

一般基金(農学部創立100周年記念事業)に1万円以上の寄附をいただいた方のうち、「送料着払い」で希望する方へ宮崎大学本格焼酎「薫陶」を贈呈いたします。数量限定(先着300名)のため、事業期間内でも終了となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。※年内に1万円以上の寄附を複数回された場合でも、お一人様1本を上限とさせていただきます。

「薫陶」の原料となる甘藷は全て木花フィールド(農場)で栽培され、学生・教職員等によって収穫されたもので、宮崎市田野町の渡邊酒造場蔵元保有の家付き酵母と伝統的仕込み技術により、2017年度・2018年度に製造されています。一般的に、最近の本格焼酎は飲みやすくなったと言われますが、「薫陶」は、あえて鮮烈な荒々しさを残すことにこだわった原酒(37度)で、芋焼酎が好きな方には自信を持ってお勧めできる残り少ない限定焼酎です。

宮崎大学本格焼酎

薫陶

KUNTOU

【非売品】





宮崎大学基金 検索

www.miyazaki-u.ac.jp/kikin

スマホからでも
寄附ができます

問い合わせ先
宮崎大学企画総務部総務広報課
TEL.0985-58-7790



もっと良い牛を育てたい～愛牛ハルとの思い出を胸に～

—農学部畜産草地科学科2年 藤井 琴未(ふじい ことみ)さん(愛知県立渥美農業高等学校卒業)—

愛知県出身の藤井さんは、トマト農家の長女として生まれ、動物好きの両親の影響もあり、色々なペットに囲まれて育ったそうです。高校は、「学校に動物がいる」という理由だけで渥美農業高校に進学。高校入学後、動物科学部に入学しました。1年次の7月に生まれた2頭のうちの雌牛(ハル)を専属で世話をするようになり、牛に夢中になっていったそうです。

高校3年次の2022年1月には、「第5回和牛甲子園」において、もう一頭の雌牛(マロ)が肉質を評価する枝肉評価部門で最高評価を得るなど、総合評価部門で最優秀賞を受賞し、全国1位に輝きました。

一方で、藤井さんが育てたハルは幼い頃からマイペースで、マロと比べて十分な大きさに育つことができずB5認定となり受賞には至らず、大会を通して嬉しさと悔しさを味わ



いました。その悔しさが彼女のエネルギーとなり、「もっと良い牛を育てたい」と強く思うようになったそうです。そんな時、宮崎大学農学部の卒業生でもあった当時の校長先生が、宮崎大学への進学を勧められたことから高校3年の秋に宮崎を訪問。一目惚れして宮崎大学の受験を決意し、無事に合格。現在は、綾町にある「A 宮崎経済連妊娠牛供給センター綾農場」で週末にアルバイトをしながら、生まれてから市場に出荷されるまでの子牛の世話を通して、牛づくりのノウハウを学んでいます。月に1度、子牛市場のセリに連れて行ってもらうこともあるそうです。

「私は高校時代、進路に悩んだけれど、宮崎大学農学部に入学することができて本当によかったと今思っています。宮崎は、牛づくりを学びたい私にとつととても魅力的な場所です。将来、畜産業を担う1人として力になれるように、これからも学び続けたいです」と、彼女は笑います。

「宮崎大学のひと」はコチラから!



宮崎大学ビーフがサミットで提供されました



2023年4月に宮崎市で開催された先進7カ国首脳会合(G7サミット)宮崎農相会合のレセプションでは、住吉フィールドで育てられた「宮崎大学ビーフ」が提供されるなど、100年の歴史とともに新たな変化を遂げています。宮崎市内のスーパーマーケット「フーデリー」にて定期的に販売されています。



宮崎大学公式フェイスブック

みなさんからのたくさんの「いいね!」をお待ちしております。



宮崎大学公式 Instagram

@miyazakidaigaku
宮崎大学に関する情報を発信します。



Myaoh.TV

公式Youtubeチャンネルで
宮大がわかる動画が500本以上!

宮崎大学広報誌『宮崎大学MAGAZINE』2023 vol.42 [発行日]令和5年10月

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>

[編集発行]国立大学法人宮崎大学 広報企画室 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 (0985)58-7114

本誌を読んでものご感想など自由にメールでお寄せ下さい。✉ kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

*この宮崎大学MAGAZINEは、一般の方々を対象に宮崎県庁や県内の各市町村役場、図書館、道の駅、銀行などで配布しています。バックナンバーは本学ホームページをご覧ください。

*本誌掲載の記事・写真・イラスト・ロゴ等の無断転載を禁じます。



宮崎大学HP



大豆油を主成分としたインキを使用しています